

2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round10・11・12



Rd. 10・11・12 Information

開催サーキット	富士スピードウェイ (静岡県小山町)	
日時	7月15日(土)	7月16日(日)
天候	曇り	曇り
来場者数	33,200人(土曜 12,700人/日曜 20,500人)	

2023年の全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound10・11・12が、富士スピードウェイで開催された。シリーズ後半戦に突入した今回は、エンツォ・トゥルーリが大躍進をみせRound10とRound12でポール・トゥ・ウィンを達成した。ランキング首位の平良響は3戦全てで表彰台を獲得。古谷悠河はRound11で接触を受けリタイアするも、Round12で6位入賞を果たした。野中誠太は我慢の週末となり、Round11の6位が最上位となった。

PONOS Racing TOM'S 320 TGR-DC

35 DRIVER 野中 誠太



Rd.10 Rd.11 Rd.12

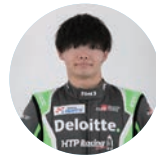
予選 8位 10位 7位 ▶▶ Driver Rank 6位
決勝 7位 6位 9位

	Rd.10	Rd.11	Rd.12
予選タイム	P8/1'34.735	P10/1'34.716	グリッドは第10戦の決勝レース結果
ベストタイム	P7/1'35.574	P6/1'35.442	P9/1'35.799



Deloitte HTP TOM'S 320

36 DRIVER 古谷 悠河



Rd.10 Rd.11 Rd.12

予選 4位 7位 8位 ▶▶ Driver Rank 8位
決勝 8位 一位 6位

	Rd.10	Rd.11	Rd.12
予選タイム	P4/1'34.368	P7/1'34.570	グリッドは第10戦の決勝レース結果
ベストタイム	P8/1'35.279	-	P6/1'35.908



モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC

1 DRIVER 平良 響



Rd.10 Rd.11 Rd.12

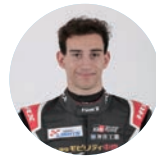
予選 5位 1位 3位 ▶▶ Driver Rank 1位
決勝 3位 3位 2位

	Rd.10	Rd.11	Rd.12
予選タイム	P5/1'34.425	P1/1'34.103	グリッドは第10戦の決勝レース結果
ベストタイム	P3/1'35.269	P3/1'34.806 (Fastest Lap)	P2/1'35.546



モビリティ中京 TOM'S 320

37 DRIVER エンツォ・トゥルーリ



Rd.10 Rd.11 Rd.12

予選 1位 5位 1位 ▶▶ Driver Rank 4位
決勝 1位 一位 1位

	Rd.10	Rd.11	Rd.12
予選タイム	P1/1'34.153	P5/1'34.335	グリッドは第10戦の決勝レース結果
ベストタイム	P1/1'35.248 (Fastest Lap)	-	P1/1'35.549



2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 10・11・12

予選

天候：曇り／気温：24℃／路面温度：26℃

トゥルーリが念願の初ポール獲得！ 予選2回目では平良がトップを奪う。

今大会からドライ・ウエット両タイヤとも横浜ゴムのワンメイクとなり、初日の練習走行から前半戦とは異なるメーカーのドライタイヤでマシンのセットアップを進めた。

土曜日の朝に行われた予選1回目は、トップ5台が0.3秒以内にひしめく大接戦となった。その中でトップを勝ち取ったのが、シリーズ参戦1年目のトゥルーリ。前日の走行で縁石に乗り上げるアクシデントがあったものの、マシンの修復も間に合い、ライバルを0.013秒上回って初ポールポジションを獲得した。続く予選2回目も連続トップタイムを狙ったが、0.2秒差で5番手となった。

一方、予選2回目でトップに立ったのは平良。1回目は5番手と不本意な順位に終わったが、10分間のインターバルで問題点を修正し、見事Round11のポールポジションを勝ち取った。

前大会で苦戦を強いられた古谷は、今回は挽回をみせて1回目で4番手につける。2回目も4番手に入ったが走路外走行でタイム抹消となった。金曜日まで好調な走りみせていた野中だが1回目が8番手、2回目が10番手という結果に終わった。



ドライバー 野中 誠太

35

金曜日までは良かったが、予選で大きく外してしまいました。

金曜日の練習走行では2番手タイムを記録し、悪くはなかったのですが、そこからの詰めというか合わせ込みを外してしまいました。ここまで外してしまった原因はちゃんと分析して、みんなと話し合っって次戦に向けて改善していきたいです。



ドライバー 古谷 悠河

36

チームが頑張ってくれて、上位に戻ってこられました。

前回の鈴鹿大会で抱えていた問題を全部解消できたわけではないですが、予選はしっかり走ることができました。セットアップも練習走行で見つけた方向性を予選で活かすことができました。チームの皆さんが頑張ってくれたおかげで、上位で戦える位置に戻ってこられました。

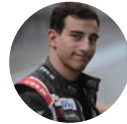


ドライバー 平良 響

1

予選2回目までに、正しい方向に持っていけた。

予選1回目はクルマのバランスを合わせることができず、動きが良くなかったです。インターバルの間にエンジニアと話し合っって、それに合わせて自分の乗り方も変えました。その結果、予選2回目はうまくアジャストできてトップを獲ることができました。



ドライバー エンツォ・トゥルーリ

37

初ポールを獲得できて嬉しい。優勝のために良いスタートを切りたい。

初めてポールポジションを獲ることができて良かったです。金曜日のアクシデントで背中を痛めて100%の状態ではなかったけど、チームがマシンを直してくれたおかげで、予選では良いアタックができました。今週末はドライで走る事ができて、しっかりクルマを準備するチャンスが生まれました。



チーム監督 山田 淳

トゥルーリ選手の初ポールは、本当に良かったです。

トゥルーリ選手は金曜日にアクシデントがありましたが、クルマはチームがしっかり直しました。初ポールなので良かったです。予選2回目では平良選手がポールを獲ってくれましたが、本来なら1回目も彼にトップを獲ってほしかったところはあります。古谷選手も少しずつ調子を取り戻しつつありますし、野中選手は決勝でひとつでも前に出てもらいたいです。

2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 10・11・12

決勝

Rd.10 天候:曇り/気温:26℃/路面温度:31℃

Rd.11 天候:曇り/気温:25℃/路面温度:28℃

Rd.12 天候:曇り/気温:25℃/路面温度:29℃

トゥルーリが2レースでポール・トゥ・ウィン! 平良は3戦全てでトップ3に入り、ランク首位を維持。



15日(土)に行われたRound10決勝(21周)は、ポールポジションのトゥルーリがスタートからトップを快走し、最終的に2.9秒のリードを築いて念願の初優勝を飾った。5番グリッドの平良もスタートでポジションをひとつ上げ、3周目に1台を追い抜いて3位表彰台を獲得した。野中は7位。古谷はスタートでの出遅れが響き、8位で1レース目を終えた。

16(日)のRound11(15周)では、ポールポジションの平良は終始激しいトップ争いを展開。最後は逆転を許して2番手でチェッカーを受けたが、走路外走行を複数回していたとして5秒加算のペナルティが課され正式結果では3位となった。トゥルーリは3番手でレースを終えるも再車検不合格で失格。古谷は他車に接触されてリタイア。野中は混戦の中で順位を上げて6位に入った。

Round12(15周)は、ポールポジションのトゥルーリが最後までトップを守り2勝目を獲得。平良は2位に入り、3戦連続の表彰台を決めた。マシンを修復して臨んだ古谷は6位でポイントを獲得し、野中は9位となった。



ドライバー 野中 誠太

35

自分のパフォーマンスを引き出せず、モヤモヤした気持ちになっています。

予選の時と比べると、決勝の3レースを通してところどころで改善できましたが、その改善スピードが遅れていると感じました。1・37号車はしっかり合わせ込めていて予選も行けている雰囲気がありますが、35・36号車はうまく合わせ込めていないのが、今回のレースでハッキリと見えました。



ドライバー 古谷 悠河

36

前回苦しんだレースペースは、解決策を見つけられた感じです。

1レース目はスタートでクラッチに熱を入れすぎてストールしてしまいました。レースのペースは良かったので、すごくもったいなかったです。3レース目はスタートから追いつけていく展開になりましたが、使い込んだタイヤを履いていたので大幅な順位アップは難しかったです。

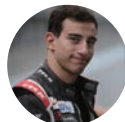


ドライバー 平良 響

1

7点差はあってないようなもの。残り2大会、全く油断できません。

1レース目は5番手からのスタートでしたが、しっかり追いつけて3位を獲得できたのは大きかったです。2レース目の反省を踏まえて、3レース目は走路外走行にならないようにしながら木村偉織選手を押さえることができて良かったです。



ドライバー エンツォ・トゥルーリ

37

ついに優勝することができて嬉しい。この流れを次大会にもつなげたい。

ついにスーパーフォーミュラ・ライツで優勝することができて嬉しいです。1レース目ではファステストラップも記録できました。3レース目もポールからスタートして、序盤の5周で可能な限りのリードを築くことに集中しました。優勝で週末を締めくくって嬉しいです。



チーム監督 山田 淳

トゥルーリ選手の伸び代には、今後も期待しています。

難しい富士でトゥルーリ選手が2回勝ってくれたのは大きいです。平良選手も3レースで色々ありましたが、メンタル面で足りないところがあるので、そこはトゥルーリ選手を見習って欲しいと思います。古谷選手は空回りした週末でしたが、速さは取り戻していましたが、野中選手も次回の活躍に期待です。



トヨタモビリティ中京

KUO
GROUP

Deloitte.

PONOS



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

